

◇次週礼拝◇

説教 神からの誉れ

中沢 譲牧師

聖書 新約 II コリント 11:7-15

讃美歌 54 529 68 65-2 24

◇次週子どもの教会礼拝◇

説教 ダビデへの油注ぎ

M.H

聖書 サムエル上 16:1-13

◇ようこそ教会へ◇

初めて教会に来られた方、学校の紹介で来られた方、歓迎します。

◇新型コロナウイルス予防対策◇

8月役員会で、コロナ感染の再拡大の状況について検討し、9月も、礼拝のプログラム短縮は継続します。

また、月初めの聖餐式は行います。

*来会されたら、まず入口で手指の消毒をお願いします。礼拝中も、マスク着用をお願いします。

*なるべく間隔をあけてお座りください。

*礼拝中は、会堂側面の窓を細く開け、天井の換気扇で換気します。

*発熱や咳など体調不良の方、ご家族に症状のある方は、来会を控え、

ご自宅での礼拝をお願いします。

*子どもの教会は、短縮礼拝を継続しますが分級は行います。

◇報告とお願い◇

9月より「旧約に親しむ会」(第一火曜)、「新約に親しむ会」(第三木曜)、「聖書に学ぶ会」(第四日曜)を再開いたします。

週報、役員会報告、会計報告などの印刷物は、毎月第四主日に会員に発送します(8月は本日、9月は24日の郵送を予定)。また、主日礼拝の「説教プリント」を作成しています。週報のメール配信と共に説教も配信します(配信希望者はHP担当まで)。「説教プリント」は、希望者に郵送もできます(希望者は牧師まで)。YouTubeでの礼拝限定配信の希望者は、中沢譲牧師のメールアドレスにご連絡ください。

◇今週の誕生者◇

O.Cさん K.Tさん Y.Yさん

◇集会状況◇

集会	日	出席
CC 子ども	20	3
おとな	20	9
主日礼拝	20	47

◇牧師室より◇

酷暑の日々も、熱中症対策をしつつ里山を散歩している。「終戦記念日」を過ぎた頃から、山路の脇にキンミズヒキとガンクビソウが咲きそろってきた。どちらも黄色の可憐な花だが、この二つが咲きそろると、心の中がざわざわする。学生の頃、この二つの花が野に咲きそろると、そろそろ夏休みが終盤の徴なので、終わっていない宿題が気になり始めていたからだ。夏が終わってしまうざわざわ感が、今も心に沸き起こる。

先週のある日の散歩では、「秋の七草」のうち、じつに六種を目撃した。まだ咲いていなかったのはフジバカマ。ちなみに、春の七草は、七草粥として食するものとしても知られ、親しまれるようになったが、秋の七草は、もっぱら秋を感じる花を愛で

るためのリストである。春のほうは、定着したのは平安時代から江戸時代にかけてのようだが、秋の七草のリストは、奈良時代の歌人山上憶良の句が由来とされるので、歴史が長い。秋の七草の覚え方として、「お好きな服は」という呪文がある。七草それぞれの頭文字をならべた呪文だ。お=オミナエシ、す=ススキ、き=キキョウ、な=ナデシコ、ふ=フジバカマ、く=クズ、は=ハギとなっている。最近、この秋の七草に別の覚え方があることを知った。同じく頭文字を並べたものだが、それは「沖縄救う」というものだ。考えた人はたぶん、かなり上の世代だと思う。なぜなら、これを平仮名で「おきなはすくふ」と旧仮名遣いで書くと、秋の七草の頭文字となるからだ。

8月15日以降、心がざわざわし始め、さらに「沖縄救う」の花々が咲きそろった頃、むしろ軍備増強を押し付けられて救われない沖縄のことを思い、秋にできることは何かを考えている夏の終わりである。

(中沢麻貴)